

北信地域障がい福祉自立支援協議会 議事録

部会名

令和3年度 第3回 幹事会

開催日時

令和3年9月29日(水) 10:45~11:45

参加者所属機関名等

北信保健福祉事務所福祉課・健康づくり支援課、中野市福祉課、飯山市保健福祉課、山ノ内町健康福祉課、木島平村民生課、野沢温泉村民生課、栄村民生課、高水福祉会、北信圏域障害者総合相談支援センター

本日のテーマ、課題等

- ①相談支援専門員からの活動報告(7~9月の活動より)
- ②第2回自立支援協議会について
- ③第6期障害福祉計画の進捗状況
- ④発達障がいサポートマネージャーの圏域推薦について
- ⑤主任相談支援専門員の圏域推薦について
- ⑥その他

会議で話し合われた事

① 相談支援専門員からの報告(7~9月の活動より)

○療育

- ・児童養護施設飯山学園にて、発達障がいサポーター養成講座の県のテキストを使用した研修会を実施。
- ・北信病院診療関係者連絡会(通称:ほっと研)で研修会を実施予定。テーマは、「医療と教育の連携」。
- ・放課後児童クラブにおける障がいのあるお子さんやグレーゾーンのお子さんの受け入れ及び支援体制についての話題が多くなっている。

○就業・生活支援センター

- ・コロナの直接的な影響は少ないと感じているが、求職者の動きが鈍い状況である。
- ・就職活動の経験が少ない方が離職をして、改めて就職活動をする場合、自己理解や就職活動の手順が曖昧であるため、希望と実際の就業可能範囲のすり合わせに時間がかかる場合がある。
- ・就労継続支援B型事業所や地域活動支援センターからの就職者が出てきている。

○安心コーディネーター

- ・総合安心センターはるかぜにあった2床の空床を7月から総合安心センターはるかぜに1床、常岩の里ながみねに1床に配置変更。常岩の里ながみねの空床利用は今のところない。
- ・地域移行に向けた取り組みとして、圏域内の入所施設2か所の実態調査を行い、調査結果から傾向や課題をまとめ、市町村課題検討ワーキンググループで報告した。
- ・支援者を対象に、障がい特性を踏まえた介護技術と介護予防をテーマに研修会を予定している(11月・YouTube配信)。

○基幹相談

- ・委託相談として定期面談・訪問を継続して行っている。
- ・信州パーソナル・サポート事業支援会議に参加(野沢温泉村・木島平村・栄村)。
- ・B型事業所と生活介護の利用状況を調査し、改めて受け入れが難しい事業所が増えていることを確認。

② 第2回自立支援協議会総会について

- ・第2回自立支援協議会総会は書面開催とすることとなった。

③ 第6期障害福祉計画の進捗状況

- ・障害福祉計画の各部会との連携や上半期の進捗状況を確認した。内容は、各部会の上半期活動報告と今年度から開始したひとり暮らし体験事業の実施状況について。

④ 発達障がいサポートマネージャーの圏域推薦について

- ・現任の坂爪氏に継続していただく。任期2年。

⑤ 主任相談支援専門員の圏域推薦について

- ・ながでんハートネットカラー'S中野所属の富井氏と未来工房つむぎ所属の樋口氏が推薦された。

⑥ その他